



2026年 3月 7日
第173号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

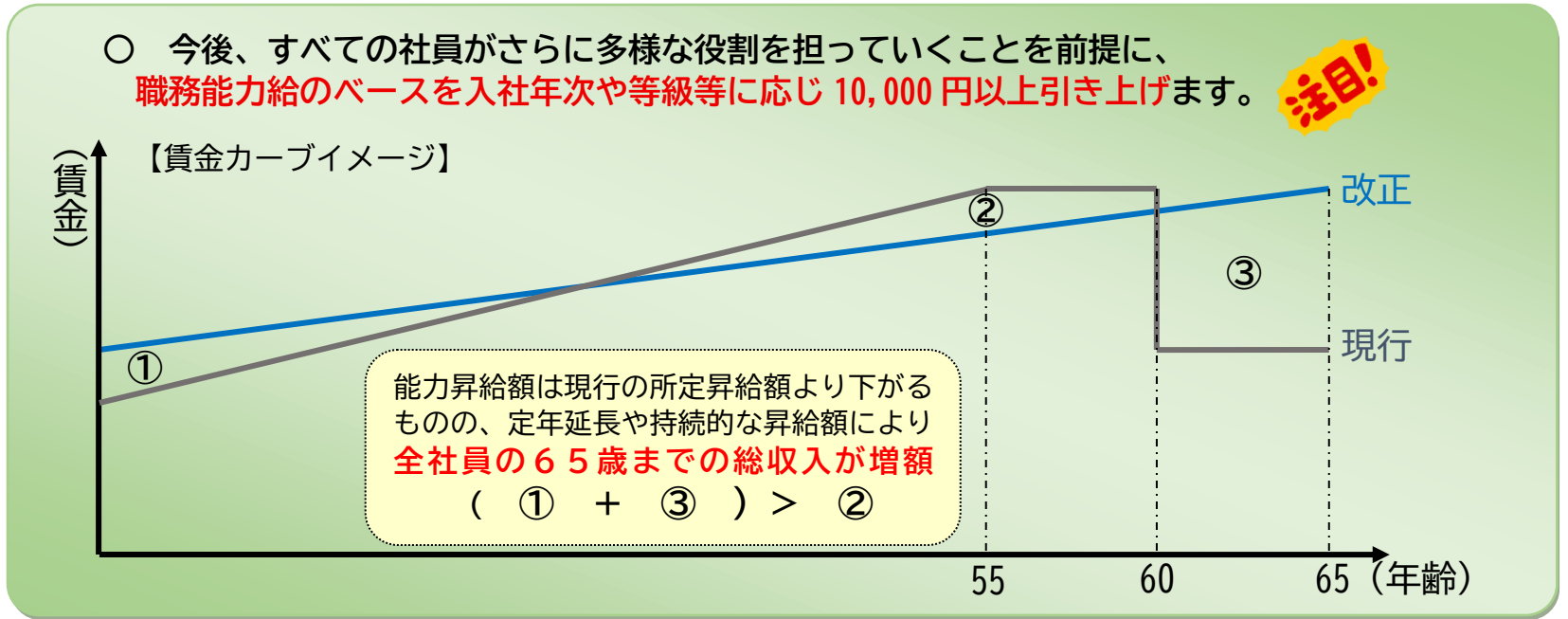
発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

職場の怒「新人事・賃金制度とベースアップは別問題！」

会社は昨年5月、「新人事・賃金制度」の提案時に、制度改訂により職務能力給（現在の基本給）が全社員 10,000 円以上引き上がることを、以下のように説明をしていました。



そして2月2日付、社長名でJR東労組に対し発出された「通知」では、

令和8年度の新賃金については、今回の人事・賃金制度改正により（中略）、全社員の職務能力給を1万円以上増額しベースが引き上がること、また他の手当等の平均支給額も大幅に増額となることを踏まえ検討していく考えである。

と、団体交渉前からベースアップをけん制し抑制姿勢。さらに、3月5日に行われた本部-本社間の申17号「2026年度新賃金引上げ等に関する申し入れ」の第2回団体交渉1期日目では、

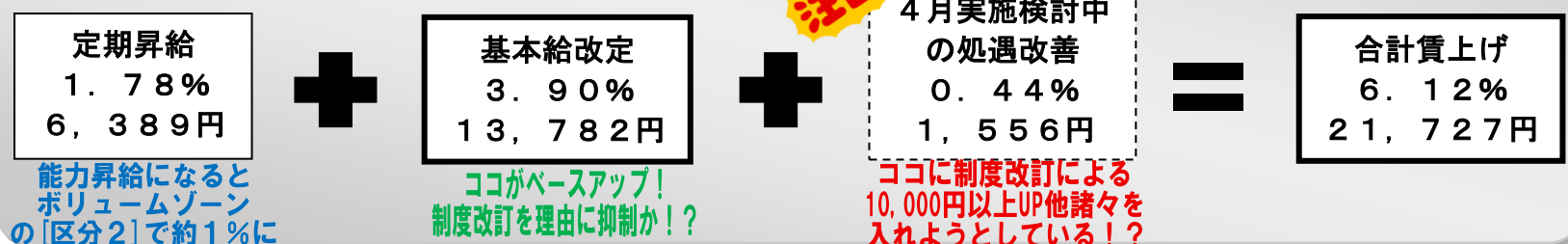
- ・移行にあたっては一人 10,000 円以上あがることで、270 億円持ち出す。
- ・長期にわたって人件費に影響するので、ベアだけ見るのではなく、実入りでいくらかが重要と考える。
- ・職責に重きをおいて検討していく。平均支給額は1割程度引き上がる。慎重に判断していきたい。

と、ベースアップを行わない理由ばかり述べているのでは！？

そういえば、昨年の2025春闘での会社回答（令和7年度 新賃金のポイント）では、

令和7年度の新賃金

○平均 13,000 円超（約4%）のベースアップを行うとともに、全体で平均 20,000 円超約6%の賃金引上げを実施します。



と、怪しげな計算式であたかも「大幅賃上げ」を演出した様な… 騙されてはいけない!

今年度は、「新人事・賃金制度で 10,000 円以上 UP したからベアゼロでいいんじゃない」となりかねない!

騙されず 諦めず 2026 JR総連春闘を職場からたたかい抜こう!